

施政方針 に対する

代表質問の要旨

決断の年とされた市長！ 逗子の方向性をしっかりと！

(2/29 ~ 3/25)

総合的病院誘致で本当に
1億3千万円は必要か？

問 市長は、平成20年度は本市にとって決断の年であるということだが、市長就任1年間は決断なき1年であった。総合的病院誘致について判断、決断しなければならぬのは二次救急24時間365日に1億3000万円が本当に必要なのか、聖ヨゼフ病院が提示した医師数、配置で手厚

公明党 高野 典子 議員

い24時間365日の二次救急が可能なか伺いたい。

市長 聖ヨゼフ病院が実施可能と判断し、昨年11月に確認書を取り交わした。1億3000万円の妥当性は議論があることは承知しており、地域医療の構築のために、聖ヨゼフ病院と逗子市あるいは逗葉医師会がパートナーシップを組んで、市民のために逗子の地域医療が発展していくことを認識しながら議員、市民に

も判断していただきたい。

市民との対話と協働で大事 ニーズの把握と分析が大事

問 若者や勤労者等いわゆるサイレントマジョリティと言われる方々の対策はどこでも大きな課題である。的確なマーケティングリサーチと職員がデータリテラシーを身に付けることが大事と思うが、取り組みについて伺いたい。また、様々な意見からの確かな分析をもって市政に生かしていくのはこれからだと思う。更に、議会との協働について見解を伺いたい。

市長 まちづくりトークや市民の会合に参加し、対話を重ねている。また、様々な手段を使って日ごろ市政にかかわる機会の少ない方々の意見も受け止め、議員の指摘を踏まえ取り組んでいきたい。

市有施設の一元化、維持管理 が行財政改革の一步となる

問 逗子アリーナ、文化プラザホール、市民交流センター、公民館、青少年会館及び学校施設開放等の予約システムや料金体制を含め二元的に管理することを検討するようだが、更に進んで建物自体の一元的維持管理も当然検討すべきと思うが、見解を伺いたい。

小中一貫教育に 逗子市も是非取り組むべき

問 京都市の小中一貫教育の視察を通し、活気に満ちあふれた教育の現場を目の当たりにし、熱意と努力に感動を覚えた。本市の公立小中学校も小中一貫教育に取り組むべき

市長 建物の老朽化を含めた資産の二元的な管理は所管が行っているが、市全体としてのトータル的な視野を持ってファシリテスマネジメントしていくことは、市全体を統括する立場の市長が担っていくべきものと強く感じている。

と思うが、見解を伺いたい。
教育長 小中学校の教育活動の交流を学校教育総合プランにも位置付けているので、今後強く指導していきたい。
※この他に、市長の政治姿勢、3つの戦略課題以外の重点的取組、平成20年度予算案についての質問がありました。